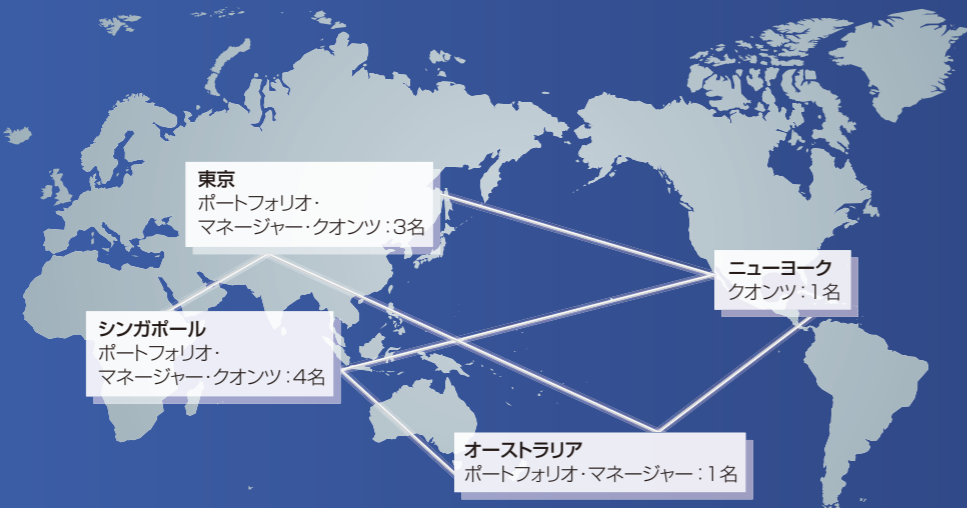


# グローバル・マルチアセット・ローリスク戦略

目標リターン：TIBOR+2%（年率）  
目標リスク：3~4%（年率）

グローバル・マルチアセット運用チームの体制（マルチアセット専任者）（2020年12月末時点）



- ✓ シンガポールを拠点にグローバルな運用体制
- ✓ 年・月・週のサイクルで市場の変化に対応
- ✓ 一貫した投資プロセスと機動性を兼ね備えた定性と定量的ハイブリッド戦略\*

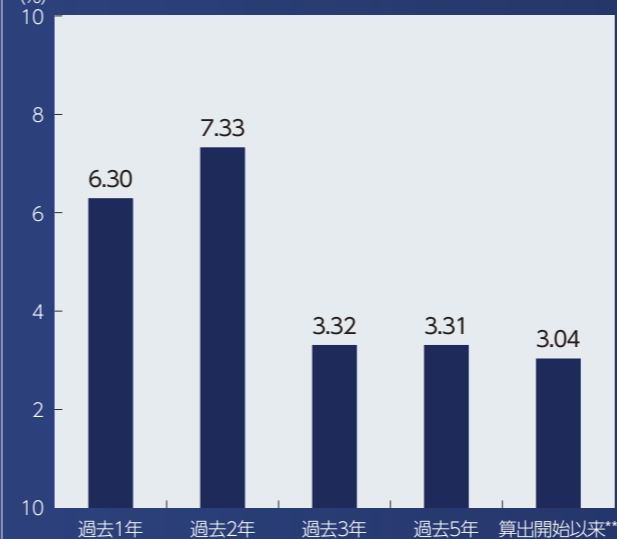
\*当運用チームによる同一運用プロセスに基づくマルチアセット運用の戦略シリーズ合計の戦略運用残高：683億円（2021年3月末時点）

## 運用開始以来、全ての年度でプラスリターンを確保

当戦略が帰属するコンポジットの年度別リターン

2020*	2019	2018	2017	2016	2015	2014**
+8.97%	+2.38%	+1.64%	+0.14%	+1.49%	+1.44%	+3.14%

当戦略が帰属するコンポジットのローリング・リターン（年率換算）（2020年12月末時点）



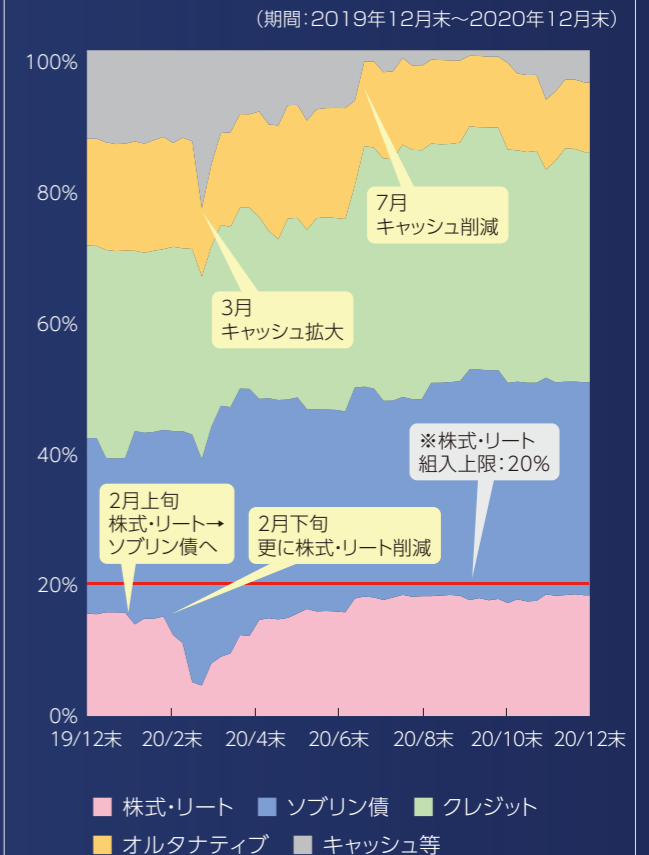
\*2020年度は2020年12月末までの年度初来リターン。  
\*\*当コンポジットの算出開始は、2014年10月1日。

上記リターンは、Nikko AM Global (以下「会社」という)のローリスク・マルチアセット戦略 (当戦略を含む)のコンポジットリターンに基づくものです。会社は、グローバル投資パフォーマンス基準 (GIPS®)への準拠を表明しています。リターンは円ベースであり、運用報酬等フィー控除前、売買手数料控除後、利子・配当収入等再投資後のものを表示しています。ベンチマークは複合カスタム・インデックスであり、一般に公表されていません。過去のリターンは将来の運用成果等を約束するものではありません。

## コロナ禍での機動的なアロケーション

下落時に下方リスクを抑制  
上昇時には機敏にリスクを追加

当戦略を代表するポートフォリオのアロケーション推移  
(期間：2019年12月末～2020年12月末)



※当該ポートフォリオの運用開始日は2018年7月20日です。  
※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

Nikko AM Global (以下「会社」という)は、グローバル投資パフォーマンス基準(GIPS®)への準拠を表明し、GIPS基準に準拠して本報告書を作成、提示しています。会社は、2008年1月1日から2020年6月30日までの期間について、独立した検証者による検証を受けています。検証報告書の写しは、請求に応じて提供可能です。検証は、(1)会社がコンポジット構築に関するGIPS基準の必須事項のすべてに会社全体として準拠しているかどうか、および(2)会社の方針と手続きがGIPS基準に準拠してパフォーマンスを計算し提示するよう設計されているかどうかについて評価するものであり、特定のコンポジット開示資料の正確性を確かめるものではありません。2008年1月1日から、GIPS基準に準拠する主体として、運用組織と認識する以下の法人の投資一任契約に関するすべての資産をNikko AM Global (「会社」と定義します)日興アセットマネジメント株式会社、日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッド、日興アセットマネジメント アメリカス・インク、日興アセットマネジメント アジア リミテッド、日興アセットマネジメント リミテッド (旧ティンダル・インベストメント・マネジメント・リミテッド) (2008年1月1日から2013年12月31日までの期間)については、これに加えてアジア インベストメント マネジメント Sdn. Bhd.)。なお、2008年1月より前の検証については、日興アセットマネジメント株式会社がそれぞれを「会社」と定義し独立した検証者により1996年4月1日から2011年12月31日までの期間について検証を受けていたほか、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドがそれぞれを「会社」と定義し独立した検証者により1997年7月1日から2011年12月31日までの期間について検証を受けていました。2008年1月より前のパフォーマンスその他の情報については、旧「会社」のものを引き継いで開示しています。

1. 当該コンポジットは、ローリスク・マルチアセット戦略を採用するポートフォリオで構築されるものです。当該運用戦略は、主として、世界各国のソブリン債、クレジット (社債等)、成長資産 (株式、REIT)、インフレ対応資産 (商品、上場インフラ等)、その他オルタナティブ資産にダイナミックな資産配分を行ない、あらゆる市場環境の下、相対的に低いリスクで安定的なリターンを創出をめざします。2. 当該コンポジットのベンチマークは複合カスタム・インデックスであり、一般に公表されていません。当該コンポジットは2014年10月7日に構築されました。当該コンポジットの算出開始日は2014年10月1日です。3. グロスリターンは、運用報酬、成功報酬、カストディーフィー、税金等費用控除前、売買手数料控除後、利子・配当収入等再投資後ベースで表示しています。当該コンポジットでは、運用報酬等控除後のネットリターンを表示していません。当該コンポジットのリターンの基準通貨は日本円 (円) です。4. 各年末時点まで過去36ヵ月のリターンがない場合には、3年間の標準偏差は表示していません。内部のばらつきは、その1年間を通じてコンポジットに組入れられていた個別ポートフォリオのグロスリターンの標準偏差を資産額加重ベースで測定したものを表示しています。なお、口座数が5口座以下の場合には、これは表示していません。5. 標準的な運用報酬は年率0.6% (税抜き) です。6. 当該コンポジットには、デリバティブが含まれますが、レバレッジ、ショートポジション、カープアウト、運用の再委託、重大なキャッシュフローを採用するポートフォリオは含まれません。7. 会社が準拠するすべてのコンポジットの概略一覧表、および/またはコンポジットのポートフォリオの評価方針、パフォーマンスの計算方法、およびその他データに関する情報は、請求に応じて提供可能です。

[投資対象:日興アセットマネジメント株式会社のグローバル・マルチアセット・ローリスク戦略に合致した有価証券および金融派生商品] ●報酬等の概要:お客様にはつぎの費用をご負担いただきます。(投資顧問報酬等) 固定報酬 (投資信託に投資する場合を含む):年率0.66% (税抜き0.6%) 以内。その他費用:組入れ有価証券の売買委託手数料など。また投資信託に投資する場合、信託財産留保額、組入れ、解約等に際しての手数料等、組入れ有価証券の売買委託手数料、有価証券の保管などに要する費用、管理費用、監査費用、設立に係る費用、借入金の利息、借株の費用などがかかる場合があります。※その他費用については、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。契約に関してお客様が預託すべき委託証拠金はございません。当戦略の投資に際しては、投資一任契約に基づき投資信託に投資する場合があります。●当広告に掲載される情報は、日興アセットマネジメント株式会社が、お客様と締結する投資一任契約における運用のご参考として表示したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。●投資リスクについて:当戦略は、主に債券、株式、不動産投信、物価連動債券、上場インフラおよびコモディティ (運動証券) を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信、物価連動債券、上場インフラおよびコモディティ (運動証券) の価格の下落や、債券、株式、不動産投信、物価連動債券、上場インフラの発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および商品 (コモディティ) の市況の悪化などの影響により、運用資産の評価額は変動し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合および通貨に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、運用資産の評価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。当戦略の運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。当戦略の主たるリスクはつぎの通りです。価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、デリバティブリスク等

## 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第368号  
加入協会:一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当戦略の詳細は  
お問い合わせください

機関投資家  
事業本部

電話: 03-6447-6515  
メール: nam.inst@nikkoam.com